

### 英文原著

1. Itokawa N, Atsukawa M, Tsubota A, Ishikawa T, Toyoda H, Takaguchi K, Watanabe T, Ogawa C, Hiraoka A, Okubo H, Uojima H, Chuma M, Nozaki A, Kato K, Mikami S, Tani J, Morishita A, Tada T, Asano T, Senoh T, Oikawa T, Okubo T, Kumada T, Iwakiri K. Kinetics of the hepatitis B core-related antigen and treatment responses in chronic hepatitis B patients treated with tenofovir alafenamide. *Hepatol Res.* 2024 Apr 29. doi: 10.1111/hepr.14052. Online ahead of print. IF:4.2/CI
2. Atsukawa M, Tsubota A, Kondo C, Toyoda H, Takaguchi K, Nakamuta M, Watanabe T; Morishita A, Tani J, Okubo H, Hiraoka A, Nozaki A, Chuma M, Kawata K, Uojima H, Ogawa C, Asano T, Mikami S, Kato K, Matsuura K, Ikegami T, Ishikawa T, Tsuji K, Tada T, Tsutsui A, Senoh T, Kitamura M, Okubo T, Arai T, Kohjima M, Akahane T, Nishikawa H, Iwasa M, Tanaka Y, Iwakiri K. ALBI score predicts morphological changes in esophageal varices following direct-acting antiviral-induced sustained virological response in patients with liver cirrhosis. *J Gastroenterol* 2024 Aug;59(8):709-718. IF:6.3/CI:0
3. Okubo H, Ando H, Nakamura S, Takasaki Y, Ito K, Fukuo Y, Ikejima K, Isayama H. Real world data of cabozantinib in patients with hepatocellular carcinoma: Focusing on dose setting and modification. *Cancer Med.* 2024 Sep;13(18):e70222. IF:4.452/CI:0
4. Furuichi Y, Kage M, Ohta M, Ohfuji S, Sasaki H, Hidaka H, Yoshida H, Kanto T, Kusano H, Akahoshi T, Obara K, Hashizume M, Kuniyoshi Y, Kawaguchi T, Okubo H, Ishikawa T, Hirooka M, Iwakiri Y, Nio M, Tanaka A. Guidelines for the Diagnosis and Treatment of Idiopathic Portal Hypertension, Extrahepatic Portal Obstruction, and Budd-Chiari Syndrome in Japan. First published: 04 October 2024 <https://doi.org/10.1111/hepr.14118>. IF:4.2/CI:0
5. Tomishima K, Okubo H, Abe D, Nakamura, Okuaki T, Yamauchi T, Ito K, Fukuo Y, Yamamoto T, Isayama H. 1. A case of situs inversus totalis with hemosuccus pancreaticus due to intrapancreatic pseudocyst perforation of the common hepatic artery treated with a vascular stent graft. *Clin J Gastroenterol.* 2024 Oct 8. doi: 10.1007/s12328-024-02046-2. Online ahead of print.

### 和文総説

1. 大久保裕直、福生有華、中寺英介、関根晴香、秋田直美、中村香代子. 肝癌 RFA 治療における検査技師へのタスクシフト～透明性・客観性の高い穿刺手技をめざして～. *Rad Fan* 2024:Vol122 No8; 35-37
2. 大久保裕直. 分担編集(消化器疾患). 健康寿命を考えた日常頻用薬の選び方・使い方.

藤村昭夫企画編集. 診断と治療社. 2024年11月7日発行

3. 大久保裕直. 黄疸 まずは閉塞性黄疸か非閉塞性黄疸かを区別する. *Medicina* 2024;Vol161 No12; 2069-2073

## 学会発表

1. 福生有華. 一般演題「アザチオプリンの治療期間における副作用と血液パラメータの変化」. 第110回日本消化器病学会総会. 徳島. 2024年5月9日
2. 伊藤光一. ポスターセッション「早期慢性膵炎診断における膵炎関連遺伝子異常の検討」. 第110回日本消化器病学会総会. 徳島. 2024年5月11日
3. 中村駿佑, 福生有華, 大久保裕直. シンポジウム「門脈圧亢進症診療における内視鏡の役割」 脾臓制御に伴う門脈圧亢進症性胃症に対する効果～部分的脾動脈塞栓術の治療成績～. 第107回日本消化器内視鏡学会総会. 東京. 2024年5月30日
4. 大久保裕直. 働き方改革にむけた肝癌 RFA 地領における検査技師へのタスクシフト. 日本肝臓学会総会. 熊本. 2024年6月13日
5. 大久保裕直. 肝細胞癌カボザンチニブ治療リアルワールドデータ. 投与量調整の重要性. 日本肝臓学会総会. 熊本. 2024年6月14日
6. 伊藤光一. シンポジウム 5 「慢性膵炎臨床診断基準 2019 の検証と次回改訂に向けた展開」「早期慢性膵炎診断の現状と今後の課題」. 第55回日本膵臓学会大会. 宇都宮. 2024年7月26日
7. Hironao Okubo. Real world data of cabozantinib in patients with hepatocellular carcinoma: focusing on dose setting and modification. APASL Oncology 2024 Chiba. September 24
8. 大久保裕直. シンポジウム. Splanchnic caput Medusae と門脈圧亢進症治療戦略 Severe portal hypertensive gastropathy (PHG) に対する部分的脾動脈塞栓術の有用性. 第31回日本門脈圧亢進症学会. 高知. 2024年9月26日
9. 大久保裕直. 会長企画1【治療 1】働き方改革の中での肝がん局所療法～超音波技師とのコラボレーション～. 日本超音波医学会 第36回 関東甲信越地方会学術集会. 東京. 2024年10月5日
10. 福生有華. ポスター「潰瘍性大腸炎におけるウステキヌマブ 12週間隔維持投与の臨床的要因」. 第66回日本消化器病学会大会. 神戸. 2024年10月31日
11. 沖翔太郎, 北條麻理子, 金澤卓也, 宇都宮尚典, 内田涼太, 阿部大樹, 鈴木信之, 池田厚, 赤澤陽一, 竹田努, 上田久美子, 上山浩也, 永原 章仁. 偽性アカラシアについての検討. 第61回日本臨床生理学会総会, シンポジウム, 東京. 2024年11月15日.
12. 大神将揮 鈴木信之 大久保裕直. 繰り返す肝性脳症の対してラフな脾腎シャントコイル塞栓術が奏功した1例. 日本内科学会 第700回関東地方会. 2024年11月17日
13. 大久保裕直. 進行肝細胞癌アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法後にサイトカイン

- 放出症候群をきたした一例. 第 45 回日本肝臓学会東部会. 仙台. 2024 年 12 月 6 日
14. 大久保裕直. 肝細胞癌に対する LEN-TACE sequential 療法の有効性・安全性. 第 45 回日本肝臓学会東部会. 仙台. 2024 年 12 月 6 日
  15. 大久保裕直. シンポジウム 4「肝硬変合併症のマネジメント」門脈亢進症性胃症のマネジメントとしての部分的脾動脈塞栓術. 第 45 回日本肝臓学会東部会. 仙台. 2024 年 12 月 7 日
  16. 賀来徳倫, 沖翔太郎, 上村泰子, 奥秋匠, 山内友愛, 鈴木信之, 福生有華, 大久保裕直. Over-The-Scope Clip を含めた集学的治療が奏功した 手術困難な胃潰瘍穿孔の 1 例. 日本消化器病学会関東支部第 383 回例会. 研修医セッション. 2025 年 2 月 15 日.
  17. 福生有華. シンポジウム 希少疾患における現状と課題「原発性アミロイドーシスの腸管病変にアダリムマブが著効した一例」第 21 回日本消化管学会総会学術集会. 東京. 2025 年 2 月 21 日
  18. 沖翔太郎, 竹田努, 浅岡大介, 阿部大樹, 鈴木信之, 赤澤陽一, 上田 久美子, 上山浩也, 北條麻理子, 永原章仁. 腹部 CT における筋肉量と便秘症状との関連. 第 21 回日本消化管学会総会学術集会. ワークショップ. 東京. 2025 年 2 月 21 日.

## 研究会発表

1. 大久保裕直. 腹壁腹膜播種からの腹腔内出血、出血性ショックを伴う進行肝細胞癌に対する薬物治療経験からの考察. 第 42 回 Portal Hemodynamics Forum. 東京+Web. 2024 年 6 月 22 日
2. 大久保裕直. 肝細胞癌カボザンチニブ治療～低用量開始の臨床的妥当性～. 第 60 回日本肝臓学会. 姫路. 2024 年 7 月 12 日
3. 大久保裕直. 肝細胞癌局所穿刺療法 of 代替治療としての定位放射線治療の有用性. 第 60 回日本肝臓学会. 姫路. 2024 年 7 月 13 日
4. 大久保裕直. 進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法中に生じた皮膚筋炎の一例. 第 60 回日本肝臓学会. 姫路. 2024 年 7 月 13 日
5. 伊藤光一. セッション 2 代謝性・機能性消化器疾患における性差「有症状者における早期慢性膵炎診断とその性差の検討」. 第 20 回消化器病における性差医学医療研究会. 大宮. 2024 年 7 月 20 日
6. 大久保裕直. 診断に難渋したアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法中に生じた皮膚筋炎の一例. 第 30 回日本肝がん分子標的治療研究会. 東京. 2024 年 7 月 26 日
7. 大久保裕直. 「診療科を越えた消化器悪性腫瘍に対する治療戦略」肝細胞癌に対する LEN-TACE sequential 療法の有効性・安全性. 第 33 回消化器疾患病態治療研究会. 宮崎. 2024 年 8 月 31 日
8. 大久保裕直. スポンサーシップシンポジウム 1 肝臓治療ナビゲーションの不易流行(横断領域)働き方改革の中での肝臓 RFA 治療ナビゲーション～検査技師とのコラボレー

- ション～. 第 18 回肝癌治療ナビゲーション研究会. 東京. 2024 年 9 月 7 日
9. 大久保裕直. 肝細胞癌カボザンチニブ治療リアルワールドデータ～初期投与量。投与量調整に着目して～第 31 回日本肝がん分子標的治療研究会. 岡山. 2025 年 1 月 17 日
  10. 大久保裕直. 肝血流・機能イメージングとしての EOB-MRI 活用法：薬物動態・有害反応予測（板井悠二賞受賞） 第 31 回肝血流動態・機能イメージ研究会. 大阪. 2025 年 1 月 25 日
  11. 大久保裕直. 当科での LEN-TACE 治療成績. Intermediate stage HCC 治療戦略を考える会(東京+Web) . 2025 年 2 月 26 日

### 座長・司会

1. 福生有華. 一般演題 座長. 第 107 回日本消化器内視鏡学会総会. 東京. 2024 年 5 月 30 日
2. 大久保裕直. 口演 13 肝癌 5 司会. 第 60 回日本肝臓学会総会. 熊本. 2024 年 6 月 13 日
3. 大久保裕直. 一般演題座長. 第 42 回 Portal Hemodynamics Forum. 東京+Web. 2024 年 6 月 22 日
4. 福生有華. 第 48 回 IBD&ベーチェット病研究会 運営委員. 東京+Web . 2024 年 6 月 28 日
5. 大久保裕直. 一般演題 8 座長. 第 30 回日本肝がん分子標的治療研究会. 東京. 2024 年 7 月 27 日
6. 大久保裕直. ランチョンセミナー 座長. 第 65 回人間ドック・予防医療学会学術大会. 横浜. 2024 年 9 月 6 日
7. 大久保裕直. 要望演題 3 座長. 第 18 回肝癌治療ナビゲーション研究会. 東京. 2024 年 9 月 7 日
8. 大久保裕直. 一般演題座長. 第 13 回脾臓研究会. 高知. 2024 年 9 月 27 日
9. 大久保裕直. 特別企画【消化器 A】「治療に活かす肝胆膵超音波診断（B-mode～血流診断まで）」座長. 日本超音波医学会 第 36 回 関東甲信越地方会学術集会. 東京. 2024 年 10 月 5 日
10. 福生有華. 座長. 【ワークショップ 2】タイトル. 児希望と父親・母親になる IBD 患者さんへの治療の最適化 ー各施設での経験例と取り組みから学ぶ. 第 15 回日本炎症性腸疾患学会. 東京. 2024 年 11 月 15 日
11. 大久保裕直. 座長. Biliary Tract Cancer Forum . Web . 2024 年 11 月 19 日
12. 大久保裕直. 特別講演座長 パルモディア XR 錠 発売 1 周年記念講演会 in 城北（東京）. 2024 年 11 月 30 日
13. 大久保裕直. 特別講演座長 肝癌免疫治療研究会(Web) . 2024 年 2 月 4 日
14. 大久保裕直. 基調講演座長 Intermediate stage HCC 治療戦略を考える会(東京+

Web) . 2025 年 2 月 26 日

15. 大久保裕直. 座長 一般演題 2 超音波ドプラ・新技術研究会(東京) . 2025 年 3 月 15 日
16. 大久保裕直. 特別講演座長 Gut-Liver Axis Study forum (東京+Web). 2025 年 3 月 19 日

### 招請講演

1. 大久保裕直. ～かん免疫を踏まえた工夫と治療戦略～腸内細菌叢を考慮した肝細胞癌免疫療法治療増強法の可能性. 肝細胞癌がん基礎免疫研究会 web. 2024 年 4 月 9 日
2. 大久保裕直. ここまで進化した肝細胞癌の集学的治療. 練馬肝細胞がん連携セミナー. 2024 年 4 月 19 日
3. 大久保裕直. デジタルコンテンツ動画 G-station Plus C 型肝炎治療. 知っておきたい薬物相互作用の基礎 (2024 年 5 月 15 日収録)
4. 大久保裕直. 最近の肝疾患 診断と治療～C 型肝炎を中心に～. ねりやくステップアップ研修会. 2024 年 5 月 16 日
5. 大久保裕直. 教育講演 「ウイルス肝炎の薬物治療 update」. 第 8 回日本臨床薬理学会 東海・北陸地方会. Web . 2024 年 6 月 9 日
6. 大久保裕直. 免疫療法時代に考えるレンバチニブを用いた肝細胞癌薬物治療. 練馬区医師会学術部消化器懇話会. Web . 2024 年 6 月 20 日
7. 大久保裕直. イーブニングセミナー 進行肝細胞癌における最適な逐次治療を目指して「PK/PD を踏まえた肝細胞癌カボザンチニブ治療のマネジメント」. 第 30 回日本肝がん分子標的治療研究会 . 東京. 2024 年 7 月 26 日
8. 大久保裕直. 「使いこなす！カボザンチニブ～肝細胞癌複合免疫療法時代の中で～」. カボメティクス全国 WEB 講演. 2024 年 9 月 4 日
9. 大久保裕直. 奈良宣言 2023 を読み解く～ALT が示す本当の意味とは. 病診連携を考える会～かかりつけ医と病院勤務医からみた包括的ケア～. 東京/Web. 2024 年 9 月 19 日
10. 大久保裕直. Luncheon Seminar “Topics on Treatment of Liver Diseases, HCV Infection and HCC” Pharmacokinetics of Direct-Acting Antiviral Therapy for Hepatitis C. APASL Oncology . Chiba . 2024 年 9 月 25 日
11. 大久保裕直. 「ウイルス性肝炎治療薬」日本臨床薬理学会主催 第 31 回臨床薬理学講習会～薬物治療の最前線～ (WEB). 2024 年 12 月 15 日
12. 大久保裕直. 「BCLC-B 治療戦略を考える」Hepatocellular Carcinoma Seminar in Johoku (Web) . 2025 年 1 月 31 日
13. 大久保裕直. 「肝癌薬物療法. 薬物シーケンシャルを安全性から考える」分子標的薬治療を考える会(Web). 2025 年 3 月 7 日

14. 大久保裕直. 「肝細胞癌薬物治療におけるトータルマネジメント～肝性脳症管理も含めて～」多摩肝疾患フォーラム 肝性脳症治療 Up To Date2025 (Web) 2025 年 3 月 27 日

#### **地域活動**

1. 福生有華. 潰瘍性大腸炎の治療指針に基づく新たな治療選択肢 コレチメントの役割と実践. 持田製薬 練馬消化器内科セミナー. 2024 年 9 月 3 日
2. 福生有華. 潰瘍性大腸炎治療の最新治療指針と生物学的製剤の治療戦略. 杏林製薬 IBD 医療連携講演会. 2024 年 10 月 8 日